

茅ヶ崎セントラルクリニック

毛利 朋代(総務 / 事務部)

功 績 これまで7年間、総務としての職務を全うしてきたが、今年度7月に経理職員退職後、総務を兼務しながら経理業務にも就くことを了承、自ら経理業務の勉強をして、8月より総務兼、経理として業務にあたってくれることになった。結果として事務部門の常勤職員数6名→5名となり、事務部門の生産性向上に寄与した功績。

推 薦 者 若林陽盛

推 薦 理 由 毛利の積極的な姿勢、キャリア構築の創造性、組織の生産性向上への寄与等、今年度健育会グループで掲げる「安全」「経営」「親身な対応」それぞれに個人で挑んでいることを推薦理由に挙げさせていただきます。

内 容

毛利は勤続7年目の事務職員です。一昨年出産し、現在は時短勤務中です。これまで総務として事務方として手の足りないところに顔をだし、職員全員を助けてくれる非常に存在感のある職員です。

今年度7月末に経理職員が退職する運びとなった際、自ら「私が経理を兼任すれば、新たに職員を雇う必要はないのでは」と事務会議で発言がありました。毛利はこれまで経理業務に従事したことはありません。そこで、事務長と5月から何回か面談、また経理業務に関する書籍を自分で購入し、勉強をしていきました。

7月からは具体的な経理業務の引継ぎを受け、8月から総務兼経理として、新たな職域にチャレンジしていくことになりました。

これにより、事務職員の常勤人数は6名から5名となり、事務職員の人件費は年間400万程度減となり、事務職員一人当たりの生産性を大きく高める結果となりました。

非常に難しいチャレンジとなりますが、今年度のテーマである経費削減を、事務の立場からどの職員よりも理解し、自ら手を挙げて実践する行動力、自分自身のキャリアを創造する姿勢は、理事長賞にふさわしいと考え、毛利を理事長賞に推薦させていただきます。